

◆「『武家の古都・鎌倉』の世界遺産登録を推進する議員連盟」設立◆

イコモス訪問を機に、世界遺産登録に弾み

平成24年6月15日、神奈川県議会では、全議員105人が超党派で参加し、鎌倉の世界遺産登録推進のための議員連盟を設立しました。そのきっかけや今後の活動などについて、会長となつた中村省司議員に伺いました。以下、発言要旨です。



●議員連盟設立のきっかけ

1999年3月に、神奈川県議会では「古都鎌倉の世界遺産への登録実現に関する決議」を全会一致で採択するなど、一貫して鎌倉の世界遺産登録を支援している。

本年6月議会は、4年の任期が終わる最終本会議なので、何かふさわしい決議はないかという声が上がった。それなら世界遺産登録実現にかかわることをやろうということになり、1999年の決議にもかかわった私が会長になって、議連を設立した。鎌倉は三大古都のひとつなので、交通渋滞やゴミなどの対策を考え、住んでいる人、訪れる人に楽しんで豊かな生活を経験してもらうという前

提に立っており、従来からある観光議連とは違う。

●世界遺産支援のポスターや県民大会

議連では、早急にできることから始めようということで具体的な計画を練っている。9月のイコモス来訪に合わせて世界遺産支援ポスターを作成し、8月下旬から地元に持つていって貼っている。議連議員の勉強会も始めた。さらに世界遺産登録推進の県民大会ができるかと考えている。どこかで県民大会を開いて、県知事や横浜、鎌倉、逗子の市長たちにも参加してもらって、共有できることはないかを探っている。

●県議会と県知事の全庁体制が整った

議連の意義は、現実の道路からゴミに至る生活事象を条例化したり、行政とリンクさせて推進していくという機能にある。その数はざっと30で、ガン議連、なぎさ議連、国際友好議連などが活動している。議連発足が契機になって、知事を本部長とする『武家の古都・鎌倉』の世界遺産登録推進本部が立ち上ることになった。これで神奈川県は、県知事と県議会の全庁体制が整った。『武家の古都・鎌倉』の登録を全力で支援していく。

◆「鎌倉の世界遺産登録と登録後のまちづくり」意見交換会 報告◆

みんなでつくる世界遺産のまち鎌倉

平成24年8月20日(月)、市役所講堂で、今年度の推進協議会の活動方針「みんなでつくる世界遺産のまち鎌倉」キャンペーンの一環として、世界遺産登録と登録後のまちづくりに対する意見交換会(荒井実行委員長)が行われ、14の市民団体と推進協議会委員が参加しました。事前に参加団体に送られたアンケートや、当日提示された問題点に対して、多くの意見が出されましたので、そのいくつかをご紹介します。

◆世界遺産への登録と登録後の鎌倉づくりの問題点

- 観光客の増加が見込まれますが、それに対応したインフラの整備は可能でしょうか?たとえば狭い道路と交通渋滞、トイレの整備、世界遺産都市のたたずまいにふさわしい街並景観の形成、緑を破壊する乱開発への歯止め、宿泊施設の充実などです。
- 世界遺産周辺のバッファゾーンを形成する緑・山並み・海岸などの自然と景観をいかに保全していくかが課題です。

○世界遺産に包まれた鎌倉の暮らしと観光・商業の在り方を見直す検討が必要です。

◆当日提示された問題点に基づき、その解決策など

- 景観法などを視野に入れた中長期ビジョンが必要。看板やサイン、電柱の地下埋設など、美しい町を提唱します。
- 斜面緑地等の宅地開発が心配されていますが、鎌倉の価値の半分は「緑」にありますので、「緑の特区」をめざしたいと思います。
- 交通問題については、市外からの車の乗り入れを規制して、市内に入る車は料金を徴収し、市外に駐車場を整備して公共交通の利用を促進します。

日頃から鎌倉のまちづくりなどで活動している市民団体が集まったため、ここにご紹介した意見の他にも世界遺産としての課題や解決策がいろいろ具体的に提起されました。この日の意見を生かして「鎌倉世界遺産Q&Aブック」にまとめることになりました。